



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社
コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 玉牧 健二

TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成28年2月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,197	2.4	1,329	4.3	1,337	4.5	933	9.2
27年3月期第3四半期	6,052	5.7	1,275	12.9	1,279	12.7	855	17.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	31.12	31.09
27年3月期第3四半期	28.26	28.20

(注)当社は、平成26年11月18日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,873	6,294	63.7
27年3月期	8,768	5,840	66.5

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,288百万円 27年3月期 5,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	9.00	—
28年3月期	—	7.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	9.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年11月18日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。平成27年3月期第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成27年3月期の年間配当金合計は30円00銭(第2四半期末12円00銭、期末18円00銭)となります。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,250	2.7	1,640	1.1	1,650	1.6	1,150	4.7	38.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	31,840,000 株	27年3月期	31,840,000 株
28年3月期3Q	1,849,257 株	27年3月期	1,849,216 株
28年3月期3Q	29,990,778 株	27年3月期3Q	30,257,905 株

(注)当社は、平成26年11月18日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株式資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な金融・経済政策により、企業収益の改善等、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、中国経済の減速による新興国の景気下振れリスクを背景に、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

さらに、医療機器産業はわが国の経済成長に寄与し得る産業として期待され、「健康・医療戦略推進法」及び「独立行政法人日本医療研究開発機構法」の公布、医工連携を促す医療機器開発の支援体制等、国内医療機器産業の発展への素地は整いつつあります。

しかしながら、平成26年11月に施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」により規制緩和が進み、国内外の異業種からの新規参入や既存メーカーの新分野への積極的な取り組みなど、他メーカーとの競争が予想されます。また、製造販売業者に対し、製造販売後の安全管理体制の一層の充実・強化、市場に対する責任の明確化を要求され、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は6,197百万円（前年同期比2.4%増）となりました。これは主として、主力の吸引器関連の病棟用吸引器であるキューインポット及び注入器関連の特定保険医療材料であるPCAセットが堅調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は1,329百万円（前年同期比4.3%増）となりました。これは主として、売上の拡大および製造原価の低減により売上総利益が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は1,337百万円（前年同期比4.5%増）となりました。これは主として、営業利益が増加したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は933百万円（前年同期比9.2%増）となりました。これは主として、経常利益が増加したこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は前事業年度末に比べて、16百万円減少し5,985百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が80百万円増加したものの、現金及び預金が52百万円、製品が50百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて、1,121百万円増加し3,887百万円となりました。これは主として、新規で研究開発兼工場用地及び建物を取得したため、土地が505百万円、建設仮勘定（有形固定資産の「その他」）が652百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(ロ) 負債

流動負債は前事業年度末に比べて、105百万円減少し2,558百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金106百万円、短期借入金100百万円それぞれ増加したものの、未払金（流動負債の「その他」）が199百万円、未払法人税等が43百万円、支払手形及び買掛金が40百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて、757百万円増加し1,020百万円となりました。これは主として、長期借入金が750百万円増加したこと等によるものです。

(ハ) 純資産

純資産は前事業年度末に比べて、453百万円増加し6,294百万円となりました。これは主として、繰越利益剰余金が剰余金の配当により479百万円減少したものの、四半期純利益を933百万円計上したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表しました平成28年3月通期(平成27年4月1日～平成28年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました。なお、当該予想数値に関する事項は、本日(平成28年1月29日)公表の「平成28年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,580	百万円 1,712	百万円 1,700	百万円 1,123	円 銭 37.45
今回修正予想 (B)	8,250	1,640	1,650	1,150	38.35
増減額 (B-A)	△330	△72	△50	27	—
増減率 (%)	△3.8	△4.3	△2.9	2.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	8,033	1,621	1,623	1,097	36.36

(注) 当社は、平成26年11月18日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,131,065	2,079,059
受取手形及び売掛金	2,673,647	2,754,124
製品	625,676	575,375
仕掛品	60,865	53,942
原材料	263,797	270,469
繰延税金資産	161,740	161,740
その他	85,754	91,335
貸倒引当金	△90	△90
流動資産合計	6,002,456	5,985,956
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	774,439	753,679
土地	1,197,677	1,703,670
その他(純額)	534,897	1,184,928
有形固定資産合計	2,507,015	3,642,279
無形固定資産	81,398	62,424
投資その他の資産		
投資有価証券	7,719	7,719
繰延税金資産	53,861	53,862
その他	148,658	154,080
貸倒引当金	△32,150	△32,398
投資その他の資産合計	178,088	183,264
固定資産合計	2,766,502	3,887,969
資産合計	8,768,959	9,873,925

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	896,454	856,190
短期借入金	500,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	203,168	309,952
未払法人税等	234,416	191,166
未払費用	343,185	359,615
賞与引当金	—	48,566
その他	487,285	193,044
流動負債合計	2,664,509	2,558,534
固定負債		
長期借入金	250,000	1,000,080
その他	13,538	20,851
固定負債合計	263,538	1,020,931
負債合計	2,928,048	3,579,466
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	505,204	505,204
利益剰余金	5,342,211	5,795,803
自己株式	△509,958	△510,004
株主資本合計	5,833,331	6,286,878
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,579	1,581
評価・換算差額等合計	1,579	1,581
新株予約権	6,000	6,000
純資産合計	5,840,911	6,294,459
負債純資産合計	8,768,959	9,873,925

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,052,785	6,197,959
売上原価	2,900,500	2,935,195
売上総利益	3,152,285	3,262,763
販売費及び一般管理費	1,876,934	1,932,861
営業利益	1,275,350	1,329,902
営業外収益		
受取利息	377	311
受取配当金	191	281
為替差益	2,727	280
受取補償金	5,042	3,030
助成金収入	—	5,638
その他	2,390	3,198
営業外収益合計	10,730	12,740
営業外費用		
支払利息	3,246	4,726
新株予約権発行費	2,222	—
その他	806	649
営業外費用合計	6,276	5,375
経常利益	1,279,804	1,337,268
特別損失		
固定資産除却損	4,500	910
特別損失合計	4,500	910
税引前四半期純利益	1,275,304	1,336,358
法人税等	420,150	402,912
四半期純利益	855,154	933,445

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

製品群	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	1,657,625	+6.0
注入器関連	837,881	+4.6
電動ポンプ関連	67,457	△32.7
手洗い設備関連	207,676	+5.3
その他	126,551	△22.4
合計	2,897,192	+2.5

(注) 1 金額は製造原価によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

製品群	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
吸引器関連	3,852,354	+4.9
注入器関連	1,613,296	+1.7
電動ポンプ関連	76,301	△38.8
手洗い設備関連	467,626	+0.8
その他	188,379	△9.0
合計	6,197,959	+2.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。